

令和3年度事業計画案基本方針

東京都病院薬剤師会定款第3条の目的に沿い、定款第4条に掲げる事業を重点に行っていくことを基本とする。病院診療所における業務、医薬品等に関する調査、研究及び情報の提供等を通して会員の医薬品や医療全般に関する知識の向上を実現するため、様々な研究会、研修会等を実施する。その他、がんや褥瘡、輸液栄養、糖尿病、緩和医療、感染制御、精神、妊婦授乳婦、臨床研究などより専門性の高い分野に加え、高齢者薬物療法領域で活躍できる薬剤師養成の研究会を実施する。またこれからの薬剤師に必須となる薬剤師のための臨床推論研究会、ファーマシーマネジメントに関するワークショップを実施する。都民の健康福祉に寄与することを目標に、都民を対象とした「くすりと健康の週間」や「看護フェスタ」等を通して薬に関する正しい情報、知識などの普及啓発事業を行う。薬剤師を目指す薬学生の実習受け入れ態勢の整備などの支援を行う。

薬剤師を取り巻く医療環境は日々変化しており、病院薬剤師はチーム医療の実践を通じて病棟業務はもとより薬剤師外来など様々な薬物療法における適正使用を推進し医療への貢献が期待される。地域包括ケアへの対応に加えて、地域医療構想の下、病床機能が再編される中、シームレスな薬物療法を実現するため、医療施設間及び開局薬剤師との連携強化が求められている。このため、薬薬連携、他職種連携を通して在宅医療への貢献を目指した活動を実施する。

また、東京都福祉保健局健康安全部薬務課や医療政策部医療政策課などの行政との関係を強化するとともに、都薬との連携についても積極的に取り組み、研修会の相互乗り入れを実施する。また、薬学生に対し中小病院を主体とした就職説明会を行うなど会員の増加対策を進め、本会の組織基盤と財政基盤の強化を図り本会の健全な組織拡大を図る。

今期の各事業の運営方法について、研修会はZoom等を利用したWebによる配信を基本とする。

各部、委員会における事業計画

■教育研修部

- ・臨床薬学研究会の企画運営
- ・新任薬剤師教育研修会を開催
- ・会員実務研修会の開催
- ・病院薬事研修会の開催
- ・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会共催病院診療所薬剤師研修会の開催

■広報出版部

- ・雑誌の発行計画に基づき年6回発行し、会員に当会の活動状況の周知を図るとともに、雑誌の内容の充実を図る

○ホームページ小委員会

- ・東京都病院薬剤師会ホームページの運営と維持管理の実施

■医薬情報部

- ・医薬品情報収集及び会員への情報提供
- ・医薬品情報に関する研修
- ・インターネットによる情報検索整備
- ・会員DI業務支援

- ・会員への情報提供の在り方と今後の方策検討

○プレアボイド小委員会

- ・プレアボイドフォーラム東京 2022 の開催

■薬務薬制部

- ・2025 年問題に向けての業務方針の検討
- ・各小委員会とのジョイント企画の検討
- ・東京都医療事故調査等支援団体連絡協議会への対応
- ・病院薬剤部門における調剤業務関連ヒヤリ・ハット事例収集（多施設共同研究）の検討

○臨床試験推進小委員会

- ・臨床研究を実施・支援するための研修会の開催
- ・治験業務に関する意見交換会の開催

○病棟業務整備小委員会

- ・研修会を年2回開催
- ・チームのマネジメントと病棟業務等をテーマに研修会を実施。
- ・教育評価ツール作成

○ファーマシーマネジメント小委員会

- ・ファーマシーマネジメントに必要とされるスキルの修得を目的とした以下の研修を実施する。
「コミュニケーション研修会」
「人材育成に関する研修会」

○社会保険制度小委員会

- ・令和4年改定の診療報酬改訂についての情報収集と対応策の検討
- ・保険診療の専門家を育成し、保険診療において薬剤師の存在感を高める方策の策定
- ・病院薬剤師の保険制度対策についてシンポジウムの企画立案

■中小病院部

- ・会員実務研修会の開催
- ・ポリファーマシーの研修会及びポリファーマシー対策の実態調査
- ・多施設合同就職説明会の開催

■診療所部

- ・診療所例会（生活習慣病研修会、EBM 研修会）の開催
- ・英文献関連ワークショップの開催
- ・文献を読むための基礎知識講座の開催

■専門領域薬剤師養成部

(1)がん薬物療法専門薬剤師養成研究会の開催

- ・Basic 及び Advanced Class の開催
- ・公開講座の開催

(2)褥瘡領域薬剤師養成研究会を年5回開催

(3)輸液・栄養領域薬剤師養成研究会を講演会を含め年6回開催。

配合変化・輸液ライン・フィジカルアセスメント体験研修会は開催しない
特別講演会の開催

- (4) 糖尿病領域薬剤師養成研究会を年6回開催
公開講座の開催
- (5) 緩和医療領域薬剤師養成研究会の開催
Basic class 研究会5回 Advanced class 2回開催
公開講座の開催
- (6) 抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成研究会の開催
Basic コース6回、及びAdvanced コース3回開催
専門領域半日研修会1回開催
- (7) 精神科専門薬剤師養成研究会を年5回開催
精神科薬物療法学術研究会を年2回開催
- (8) 妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研究会を年6回開催
- (9) 臨床研究専門薬剤師養成研究会を年5回開催
- (10) 高齢者薬物療法領域薬剤師養成研究会を年4回開催

■医療安全部

- ・医療安全講習会を年2回開催
- ・医薬品安全管理に関連するマニュアル（指針）の策定

■臨床推論推進特別委員会

- ・公開講座を2回開催

■災害対策特別委員会

- 災害薬事講演会を年1回開催

■支部組織

(1) 中央支部

- ・中央支部勉強会の開催

(2) 城北支部

- ・城北支部勉強会の開催

(3) 城南・島しょ支部

- ・城南・島しょ支部勉強会の開催

(4) 城東支部

- ・城東支部研修会の開催
- ・短期集中講座の開催

(5) 多摩西南支部

- ・多摩西南支部・多摩東支部、都薬多摩地区5支部との合同で多摩薬薬連携協議会フォーラムの開催
- ・多摩西南支部・多摩東支部合同研究会の開催

(6) 多摩東支部

- ・支部研究会開催

II. 管理・運営事項

1. 総務部

- ・理事会、総会等の開催に際し、本会の事務局と連携し、その運営を補助する
- ・本会の会員名簿の作成における原稿の校正作業
- ・本会の規約の新規案あるいは改廃案が提出されたとき、必要に応じて当該案を規約整備特別委員会に提出するために整備する。
- ・看護フェスタ、お薬相談の実施
- ・その他、本会の会務における庶務、渉外などの事項への対応

2. 会計部

- ・予算案の作成
- ・各部会、委員会、研修会の収支確認
- ・毎月の決算書による収支と伝票の確認
- ・中間、年間の決算書の確認

3. 規約整備特別委員会

- ・本会の運営に必要な規約類を随時起案する
- ・新規に起案された規約について、その意義、現行の規約類との整合性などを確認し、理事会や総会などに附議する形に整える
- ・既存の本会の規約類も随時見直し、改廃等の案を理事会や総会などに附議する形に整える

4. 臨時総会、通常総会、支部代表委員会、理事会・常任理事会の開催

令和3年度収支予算

収入の部

勘定科目	R3年度予算案	R2年度予算案	増減	備考
1. 会費収入	49,090,000	48,537,500	552,500	
正会員会費	42,385,000	41,705,000	680,000	8,500×4,960名、4,500×50名
特別会員会費	2,805,000	2,912,500	△ 107,500	8,500×330名
賛助会員会費	3,900,000	3,920,000	△ 20,000	全105社
2. 事業収入	17,179,400	18,264,500	△ 1,085,100	
研修会事業収入	15,677,400	16,762,000	△ 1,084,600	臨業研、各研修会
会誌広告収入	1,500,000	1,500,000	0	雑誌6回分
印税収入	2,000	2,500	△ 500	印税
3. 交付金収入	7,171,500	7,314,000	△ 142,500	
日病薬交付金	6,264,000	6,144,000	120,000	1,200円×5,220名
都薬交付金	907,500	1,170,000	△ 262,500	5,250円×150名、助成金、補助金
4. 雑収入	154,000	654,000	△ 500,000	
雑収入	154,000	654,000	△ 500,000	雑誌販売、預金利息
当期収入合計(A)	73,594,900	74,770,000	△ 1,175,100	
前期繰越収支差額	20,000,000	0	20,000,000	
収入の部合計(B)	93,594,900	74,770,000	18,824,900	

支出の部

1. 事業費	39,504,000	41,286,000	△ 1,782,000	
給料手当	12,594,000	12,835,000	△ 241,000	専務理事報酬、職員給与
法定福利費	1,314,000	1,988,000	△ 674,000	社会保険料
退職給与引当金繰入	500,000	500,000	0	退職金積立分
福利厚生費	26,000	26,000	0	職員厚生費
会議費	3,700,000	4,092,000	△ 392,000	各部会・特別委員会会議費
旅費交通費	348,000	492,000	△ 144,000	各種研修会講師交通費、専務理事通勤手当
通信運搬費	4,931,000	1,964,000	2,967,000	雑誌発送、アンケート調査、ホームページ用サーバー
消耗品費	404,000	506,000	△ 102,000	研修シール、研究会文具等
印刷費	6,233,000	6,433,000	△ 200,000	雑誌印刷、研修会テキスト
編集費	1,187,000	1,187,000	0	雑誌編集費
賃借料	2,586,000	3,833,000	△ 1,247,000	研究会会場費、看護フェスタ機器レンタル料
諸謝金	2,533,000	2,753,000	△ 220,000	研修会講師謝礼、雑誌原稿料
活動費	3,148,000	4,677,000	△ 1,529,000	研修会開催費用、ホームページメンテナンス
2. 管理費	24,747,155	24,604,777	142,378	
給料手当	6,144,000	6,284,000	△ 140,000	職員給与
法定福利費	958,000	982,000	△ 24,000	社会保険事業主負担金
退職給与引当金繰入	1,079,155	1,037,777	41,378	職員退職金積立分
福利厚生費	66,000	66,000	0	職員厚生費
会議費	2,210,000	2,427,000	△ 217,000	総会、理事会、総務部、会計部
旅費交通費	561,000	286,000	275,000	学会出張、職員通勤手当
通信運搬費	1,712,000	1,726,000	△ 14,000	電話、切手、はがき
消耗品費	70,000	70,000	0	事務用品
印刷費	1,793,000	1,976,000	△ 183,000	コピー料金、名簿印刷費
光熱水料費	355,000	355,000	0	電気料
賃借料	7,172,000	6,953,000	219,000	事務所費、リース代
広報費	88,000	88,000	0	法人名広告
諸謝金	1,035,000	955,000	80,000	税理士、労務士顧問料
租税公課	570,000	570,000	0	法人住民税、消費税
負担金	130,000	130,000	0	関東ブロック
交際費	100,000	100,000	0	関連団体、慶弔金
委託費	70,000	70,000	0	年会費自動口座振替手数料
図書費	100,000	100,000	0	薬事日報、薬事新報購読料 他
雑費	534,000	429,000	105,000	銀行、振替手数料
3. 関東ブロック準備金	500,000	500,000	0	
4. 公開講座積立金	500,000	0	500,000	
5. 施設拡充積立金	500,000	0	500,000	
当期支出合計(C)	65,751,155	66,390,777	△ 639,622	
当期収支合計(A) - (C)	7,843,745	8,379,223	△ 535,478	
次期繰越収支差額(B) - (C)	27,843,745	8,379,223	19,464,522	